

パソコン静穏化のすすめ

2EJ ジャージー

■ 静穏化できるポイント ■

▼ 1. ケースを変える

- ・ ケース本体のビビリ（細かな振動）やケースからの音漏れを防止することができる。
- ・ 空気の流れ（エアフロー）を考えた内部構造で、少ないファンの風量で十分な冷却をすることができる。

▼ 2. ファンを変える

- ・ ファンの軸音、風切り音がパソコンから出る音に多大に影響している。
- ・ 同じ風量のファンでも、ファンの形によってファンの音も変わる。
- ・ ファンコントローラーでファンの風量を変更することによって、パソコンごとの最適なファン回転数に調整できる。

▼ 3. ハードディスクのあり方を変える

- ・ HDD を静音用 HDD ケースに入れることによって、HDD の動作音が外に漏れないようにする。
- ・ OS や BIOS などの最低限のデータだけ 2.5 インチの静かなハードディスクに保存してデータやほかのプログラムは別の場所においてあるサーバーパソコンや、無線 USB によるデータ転送を可能にした HDDBOX に保存することで、HDD 動作音をかなり低減する。

▼ 4. ファンレス化

- ・ 冷却効率のよいヒートシンクを使用することによって、ファンがなくても安全な PC にする。

▼ 5. 電源・グラボの変更

- ・ 静穏仕様のパーツを使えば、かなり音量に変化が現れる。

■ 静穏化するときの注意点 ■

● 冷却との兼ね合いに注意を払う

特にファンなどをいじるときにいえることであるが、ファン回転数を減らせば、排熱量は確実に落ちる。ヒートシンクによるファンレスかも同様。

静穏化を気にし過ぎて、排熱をおざなりにした結果、熱暴走を起こしてパソコンが壊れてしまったという事例は少なくない。

● 一度はじめるととまらない

一度パソコンの音が気になり出すと、ファンを静かにしたら次は電源、それが終わればグラボ、HDD の動作音と、際限なく気になってしまう。

気にしないほうが幸せなのかもしれない。